

※住田代表理事の「カンボジア回顧録」はお休みさせていただきます。

■英語:単語 ヴァイ・ピサイ先生

□授業:①英単語のゲームをする。指名した生徒にだけわかるように話す。話の内容を生徒が黒板に絵で書く。他の生徒が絵を見て英語で答える。②新しく出た単語、文章を黒板に書き読み方を教える。③生徒全員に読ませる。④先生が教科書を読み、生徒全員に復唱させる。⑤生徒1人1人に1文ずつ読ませる。読めない生徒には教える。⑥先生は英語で質問する、生徒も英語で答える。⑦教科書の問題を解く。手を上げた生徒が黒板に答を書く。⑧生徒は答をノートに書く。⑨まとめ:授業中の新しい単語を書いた紙を見せて生徒に読ませ、意味も教えて、授業は終わった。



教員4年目で初めての経験だった

住田の感想:①生徒に先生が発音する単語や文章を何度も反復練習させた。②授業の中で新しく出てきた単語を教えたが、スペルを覚えさせる時間が無かったのは残念だった。③やさしい練習問題をして自信を持たせた。④先生が正しい発音で英文を読み、生徒に真似させて覚えさせ、身に付けさせる授業になった。

■数学:確率 ノッ・サバー先生

□授業:ABCDのカードを生徒に1枚ずつ配り、それぞれのカードが出る割合は最終的には1/4になることを教えた。①確率の問題を書いた紙を黒板にはる。②生徒4人を呼んで、A～Dのカードを1枚配る。Aのカードを持っている生徒は、4人の中の1人で1/4であることを確認する。③生徒全員に教科書を閉じさせて授業を進める。無作為に積んだA～Dのカードを、4班に分けた生徒に1枚ずつ取らせる。④班ごとにABCDのカードを持った生徒の人数を調べて紙に書かせ、発表させる。⑤先生は人数を表にして黒板にまとめる。⑥班内のABCDの生徒数が違うこと、班毎にも違うことを確認する。⑦ABCD別に生徒数を合計する。⑧合計した数が生徒全体のほぼ1/4になっていることに気づかせて授業は終わった。



発表会に向けての準備が大変だった

住田の感想:研究内容を良く理解している先生なので、指導の4項目をしっかり押さえた良い授業だった。授業の時間配分もよく、数学が苦手な生徒が多い中で、生徒の興味を引き付け、楽しく、生徒によくわかる授業だった。参観の先生にも、研究内容「生徒によくわかる授業の仕方」がよく理解できた授業になったと思う。

■歴史:カンボジアの民主主義 イン・ビスナー先生

□授業:①教室の前面にスクリーンとプロジェクターがセットされ、先生が今日の課題を書いて授業は始まった。②生徒を指名して本時に勉強する教科書の内容を読ませる。③先生が班毎に課題を与え、スクリーンに映し出された映像から、課題を解決することを説明する。④スクリーンに次々と大きく映し出された映像を見ながらメモをしている。⑤班ごとに、見た映像をもとに課題について話し合い、模造紙に書く。⑦班ごとに発表して、先生が補足して授業が終わった。



資料を探して作るのに苦労した

パソコン・プロジェクターは、SAJでの支援活動の時に「SAJ支援者様」から寄付されたものです。

住田の感想:映像の内容も精選されて、分かりやすかった。①課題を与え理解させる②映像を見せ生徒各自が分かったことをメモする③班で話し合う④班の代表が発表する。⑤先生が補足説明をする。授業の時間配分も良い。これが1つの授業モデルになるだろう。カンボジアでは、歴史の授業をどのように教えたらいかが、困っている先生も多いので、参観した先生にも参考になった授業だと思う。

◇ご支援をお願いいたします。

教育環境を整え、貧しい子に教育の機会を提供し、先生に指導力の向上のお手伝いをしています。SSFCの活動へのご支援をお願いいたします。寄附金のお振込みは、下記からお願いいたします。

■三菱UFJ銀行 神保町支店
口座番号(普) 0968555
■ゆうちょ銀行 00110-2-767497
口座名:公益社団法人 SSFカンボジア

詳しい解説・近況報告はSSFCホームページに掲載 ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/> しております。ぜひご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。お問い合わせは、TEL:03-6272-5717 FAX:03-3511-5019 E-mail: info@ssf.or.jp



※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「よにゆむ通信」にも掲載されますので、ぜひごらんください。



ໆໆໆໆ によにゆむは、カンボジア語で「笑顔」という意味です。
よにゆむ通信
2018年8月号 No.8

公益社団法人
Sumita Scholarship Foundation, Cambodia
(SSFC) 代表理事 住田平吉
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町2-44
第二石坂ビル502
TEL:03-6272-5717 FAX:03-3511-5019
E-mail: info@ssf.or.jp
ホームページ: <http://www.ssf.or.jp/>

◆7月6日(金)アライン・ランサイ中学校で「よくわかる授業の成果発表会」が行われました。

州郡教育長以下、郡内中学校から60人の校長と先生が参加してくれて大成功でした。当日は丸1日かけて、13人の先生が授業を公開しました。7月号で紹介できなかった9名の授業を紹介します。



当日の日程

7:30	受付開始
8:00~11:00	公開授業
11:00~12:00	全体説明会
12:00~12:40	昼食
12:40~14:40	分科会

■教科別分科会を12時45分から2時間行いました

中学校では初めての授業発表会なので、授業の説明が中心になりました。分科会の司会や記録などは、ランサイ中学校の先生が分担して行いました。

発表会では、副校長から研究テーマである「生徒によくわかる授業の仕方」の概略を説明しました。国語・数学・理科・英語・歴史と家庭科の担当教科の先生が集まって行われた5つの分科会では、公開した授業を具体的にはどのように行ったのか、授業をした先生全員が「テーマを達成するためのSSFC指導の4項目」を説明し、質問に答えました。



分科会で今日の授業の説明をする先生

■分科会の様子

1、自己紹介の後、授業者が順番に公開した授業について、指導案を基にしてテーマを達成するために行った4項目の内容について説明しました。

2、授業を参観した先生から質問や意見を聞き、授業者全員が今日の授業を基に答えました。

分科会で話し合った内容

研究会に参加した先生も「生徒によくわかる授業の仕方」についての実践経験がなく、どの分科会も授業をした先生の説明を聞くことが中心になりました。

参観の先生から出た質問や意見

□理科:①教具(棒やU字型磁石・砂鉄・方位磁石等)があるのがうらやましい。②郡内の学校に順番に貸してもらえないか。③もっと知識を身に付けたい。④指導案の必要性がわかった、書き方について指導してほしい。

□数学:①小学校で算数が分からない生徒は中学校では何も分からない。ランサイ中ではそういう生徒をどのように指導しているか。今日のスイカの授業で1つのヒントをもらったが、他の例を知りたい。②外国の授業のレベルを知りたい。

□国語:①ランサイ中の国語の先生の授業はどれも素晴らしかった。まず始めにどんな勉強をすれば良いか教えてほしい。②生徒の書く文字がきれい。授業でどのように指導しているか聞きたい。

□英語:①アルファベット文字の書き方の教え方はどうしたか。②文字を丁寧に書くことをどうやって生徒にわがらせたのか。

□歴史と家庭科:①歴史の授業で使った資料はどのようにして手に入れたのか教えてほしい。②プロジェクターは授業にとっても役に立つと思った。

住田から、「SSFCの活動」をあらためて説明し、授業に必要な教具については、「SSFCができる限り、より多くの支援をするつもりだ」と伝えました。



分科会で今日の授業の説明をする先生



分科会で質問をする参観の先生



分科会で質問をする参観の先生

■先生全員が朝から授業を公開

指導を受けて良かった。
授業に自信を持てるようになった。
生徒によくわかる授業が出来た。
満足して、充実した気持ちでいっぱい。

SSFC指導の4項目とは

①先生自身の事前の勉強②生徒の興味の引き付け③生徒に考えさせる④生徒の理解度を把握する

後ろで参観する先生たち



参観後、活発な議論をする先生たち



■家庭科:刺繍の授業 ニューン・ソピアップ先生

授業の前半に、「SSFCが購入して学校に寄付した刺繍の道具45人分」を生徒全員に配りました。

□授業：①刺繍の仕方を書いた紙を黒板に貼った。②それを使って、布の張り方・下絵の書き方・刺繍の仕方について指導した。③授業の後半は、「刺繍の実習」をした。④生徒の作業を見て回り、布の張り方や針の刺し方の個別指導をした。⑤実習の途中で、生徒の下絵や刺繍の良い作品3点を選び、生徒全員に見せた。⑥3人の生徒はそれぞれに、自分が注意して作った事などを発表した。⑦まとめ：授業終了後、家で刺繍を完成させてくることを宿題にした。

住田の感想：実習を伴う授業では、貧しい家庭の生徒は実習に必要な道具が買えず、実習をやれない生徒が多いのがカンボジアの学校の実情である。今回の授業では、SSFCが刺繍の道具（針・型枠・糸）を45人分学校に寄付したので、生徒全員が刺繍の実習をすることが出来た。生徒は刺繍を早くしたいとわくわくした気持ちで実習を待っていた。

実習の途中で、良く出来ている下絵や刺繍の作品を生徒全員に見せ、作品について発表させたことも生徒の学習意欲を高めることができた。カンボジア人は一般に手先が器用で刺繍も上手で、家庭でもよく見かけるが、学校での授業が基になっていると思った。今日の授業でも上手な作品が多く出来た。参観の先生に参考になる良い授業になったと思う。

■理科:たばこの害 パーン・ソツパニー先生

□授業：①生徒4人に教科書を読ませ今日教える内容を知らせる。②先生が書いたタバコの絵（図解）を見せて、悪い物質がたくさん入っていることを説明する。③まがった指、ただれた口や歯のカラー写真などタバコの害の写真を見せる。④写真を見て生徒は驚き、次々と感想を言う。⑤先生が作ってきた「ペットボトルを人の肺に見立てた実験装置」を見せる。ペットボトルのふたに穴をあけてストロー（片側に綿を付けてある）を差しこみ、ペットボトルを押ししたり離したりして（空気を出入りさせ）呼吸を再現した。⑥教室外で先生にたばこをすってもらい、煙をペットボトルいっぱいにした。⑦ペットボトルを“呼吸”させたら中に入れておいた綿が茶色になった。⑧グループ毎に「タバコにはどんな有害な物等が入っているか」問題を与え、生徒は教科書に出ている答を書く。⑨まとめ：たばこの害を書いたABC3枚のカードを配り、生徒の上げたカードを見て先生が理解度を調べた。

住田の感想：ソツパニー先生がペットボトルを人の肺に見立てて実験装置を作った事はとても素晴らしい発想だ。②実験装置が人の肺と同じ仕組みであることを、生徒に呼吸させてよく分からせるとよかった。③実験の結果、綿が茶色になっていることの原因を考えさせたのはよい。④実験を重視した良い授業になった。先生の工夫次第で、身近にある道具で実験装置が出来「生徒によくわかる授業」が出来たことを示した。参観の先生に参考になったと思う。



私も生徒も満足した授業になった。

全員に道具がわり、全員が実習できた

たばこの害を教えるソツパニー先生

私も気づかされたことが多かった。

※活動内容の報告(バックナンバー)はホームページ「にょむ通信」にも掲載されますので、ぜひご覧ください。

■英語:時刻の言い方 スーン・シン先生

□授業：①先生が教科書を読み、生徒に発音をまねさせて読ませる。②時刻を書いた紙を見せて、言い方を教えた。③教えたことを、生徒を指名して答えさせた。④わからない生徒やまちがえた生徒には何度も教えて覚えさせた。⑤指導用の時計を出して時刻を示し、指名した生徒に答えさせ、全員に発声させて、言い方を教え込んだ。⑥まとめ：時刻を書いた紙を順に3枚見せ、生徒に答えをノートに書かせてテストした。⑦生徒のノートを集めて授業は終わった。授業終了後に採点し、理解度を調べた。

住田の感想：「塾に通っている生徒が中心の授業でなく、授業の中で生徒全体に分からせる授業をする」という事前に相談した通りの授業を行った。学校で行う授業の中で、塾に行けない生徒にも分かることができることを実践した授業だったと思う。参観の先生に良い授業を見せた。

■数学:立体図形 パエン・ソクンティアリー先生

□授業：自作の角柱の教具を使って授業は始まった。①三角形と四角形(正方形・長方形)を見せて面について復習する。②生徒に四角柱、三角柱を見せて、面の数と形、同じ形の面の数について考えさせる。③生徒が四角柱・三角柱を手にとって面の数を数え、底面や側面の同じ形の数を発表する。④先生が体積について説明する。⑤数字を入れて四角柱の体積の求め方について生徒に考えさせる。班ごとに先生が中に入ってヒントを与えて生徒一人ひとり考えさせる。⑥班ごとに紙に書いて発表する。⑦先生が補足説明をして授業を終えた。

住田の感想：十分に時間を取って生徒に考えさせたので、生徒の誰もが考えていた。一人ひとりに考えさせる授業が出来た。このような指導を続けていけば、生徒は数学が好きになり学力が伸びるだろう。

■国語:カンボジア語の文法 プーン・ラッター先生

□授業：いつものように落ちついた態度で生徒に語り掛け授業が始まった。①名詞と動詞の二つの言葉を並べて、名詞か動詞かを生徒に答えさせる。②動詞を名詞に代えるには4つのパターンがあることを、いくつかの名詞を例にして丁寧に教える。③練習問題を出して4つのパターンに当てはめて考えさせ、生徒に答えを黒板に書かせる。④解答を生徒に説明させ、先生が補足説明をする。⑤まとめ：生徒にノートや本を閉じさせて、先生が問題を出し生徒に答えさせて、生徒の理解度を調べる。

住田の感想：ラッター先生はランサイ中学校で最初に指導案を作って授業をした。私は驚き感激したことを今も忘れない。①授業で良かった事は、動詞を名詞に変える4つのパターン1つ1つに時間をかけて丁寧に教えて、生徒に理解させたこと。②その後で練習問題を出して生徒に解かせ、考えさせたことがよい。生徒に考える力が養われる。③ラッター先生の生徒を引き付け、生徒によくわかる指導は、指導案を作成した勉強から来ているものと言える。④全員の先生が指導案を書くようになって、指導力が格段に向上した。

■数学:分数 マイ・ボン先生

□授業：①中央の机にスイカを置き生徒の注目を集める。生徒にスイカを半分に分けて、1/2を確認する。②他の生徒に同じ大きさに4個、8個に切らせ、切った1個が1/4、1/8であることを教える。生徒も参観の先生も授業に集中している。③切ったスイカを並べて、 $1/2 = 2/4 = 4/8$ を生徒によくわかるように教えた。④5個のマスを書いた模造紙を4つの班にわたして3/5、2/5を色でぬらせる。⑤班の代表が模造紙を持って説明する。生徒は図をノートに書いてまとめる。⑥リンゴやバナナなどの絵で先生が指示した分数(4/7、や8/9など)を黒板に書かせ色で塗らせる。⑦生徒全員が興味をもって楽しんで勉強している。⑧だれが1番上手に絵を書いたか、挙手で決めた。⑨スイカ1/8を、絵が1番上手な生徒に配った。⑩授業は時間配分がよく、ぴったりで終わった。

住田の感想：アイデアがとても良く、生徒を引き付け、楽しい授業をした。①1/2のスイカを半分に分けて2/4、更に半分に分けて4/8。このどれもが1/2の大きさと同じであることを、切ったスイカを組み合わせて、目で見せて分かったことは分数の足し算・引き算を理解させる基本になった。②生徒全員に楽しく分数の大きさを分らせ、教える内容が多く良い授業だった。

「授業を真似したいと言われ、うれしかった。」



授業用の時計をSSFCから寄贈しました

私自身もっと勉強したくなった。



自作の教具が役に立った

工夫したので自信をもって楽しく授業が出来た



生徒に語り掛ける形で授業が始まった

参観した先生に褒められてうれしかった。



アイデア満載の授業づくり

ホームページ: <http://www.ssfc.or.jp/>